

「園芸用施設の設置等の状況（R 5. 9 月公表、R 7. 4 月修正）」（概要）
（園芸用施設：令和 2 年 11 月～令和 3 年 10 月）

省エネルギー設備等の設置状況

園芸用施設の省エネルギー設備等の設置状況は、加温設備のあるものが令和 2 年から 0.7%増加の 17,071ha となり、化石燃料のみに依存するものは令和 2 年と同程度の 15,286ha、化石燃料のみに依存しないものは同 7.7%増加の 1,786ha となった（表-1）。

表-1 省エネルギー設備等の設置実面積

（単位：ha）

区 分	令和 3 年	令和 2 年	前回比
ガラス室・ハウスのうち 加温設備等のあるもの	17,071	16,947	100.7%
化石燃料のみに依存するもの	15,286	15,288	100.0%
化石燃料のみに依存しないもの	1,786	1,659	107.7%

加温設備を種類別にみると、石油利用等が 15,110 haで加温全体の 88.5%を占めており、次いで、ヒートポンプ利用が 965ha で 5.7%、地下水等利用が 670 haで 3.9%、LP ガス・LNG が 183 haで 1.1%、木質バイオマスが 121 haで 0.7%の順となった（表-2）。

表-2 加温設備の種類別設置実面積

（単位：ha）

区 分	令和 3 年	構成比
加 温 面 積	17,071	100.0%
石油利用等	15,110	88.5%
ヒートポンプ	965	5.7%
地 下 水 等 利 用	670	3.9%
L P ガ ス ・ L N G	183	1.1%
木質系バイオマス	121	0.7%
産廃・都市ゴミ	13	0.1%
太陽熱利用	8	0.0%
そ の 他	11	0.1%